

NEWS 02 泉大津市名誉大使に
オール阪神氏が就任



市制施行 70 周年を記念して
 来年、平成 24 年に市制 70 周年を迎えるに当たり、その記念すべき年を盛り上げるため、11月8日、本市出身の漫才師・オール阪神氏を「泉大津市名誉大使」に任命しました。
 委嘱式では、本市名産である「ニット製」の委嘱状が、神戸市長からオール阪神氏に手渡されました。
 吉本興業で行われた委嘱式では、神戸市長、吉本興業代表取締役会長の吉野伊佐男氏、オール阪神氏、そして同じく吉本新喜劇のマドンナ・五十嵐サキさんをはじめ、いっしょに本市を応援してくれるタレントの皆さんが、オール阪神氏の就任をお祝いしました。
 オール阪神氏は名誉大使として、毎年の参加を欠かさない「泉大津だんじり祭り」をはじめ、国内生産日本一を誇る毛布製品やニット製品などの地場産業、70周年記念事業のPRなど、本市を盛り上げていただきます。
問合せ 企画調整課（市役所4階）

NEWS 01 泉大津市有功章を
受章されました



市では、地方自治の分野において活躍され、本市の発展に貢献された次の3人を「市有功者」として、11月3日に開催した表彰式にて表彰し、有功章を贈りました。
川添利雄氏 【自治関係功労者】 泉大津市防犯委員会会長
小林修平氏 【自治関係功労者】 元泉大津市議会議員
吉村 謙氏 【自治関係功労者】 元泉大津市議会議員
 平成 23 年度泉大津市有功章受章者の皆さん。写真左から、川添氏、小林氏、吉村氏
 ※本市では、泉大津市有功者表彰条例に基づき、本市の発展に功労のあった人を、泉大津市有功者として表彰しています。
問合せ 秘書広報課（市役所4階）

NEWS 04 市立病院に新しくCT装置・
骨密度測定装置を導入しました

新しい機器の導入で、地域の皆様により安心・安全な医療をお届けします
 市立病院では市民ニーズに迅速、柔軟に対応できる高度で良質な医療サービスを提供するため、新しく医療機器（CT装置、骨密度測定装置）を導入しました。病気の早期発見、早期治療、病気の予防に大いに役立つものと期待しており、多くの市民の皆さまのご利用（検査）をお願いいたします。
 市立病院は、引き続き、地域の中核病院として市民の皆様に信頼され、安全・安心な医療を推進してまいります。
 泉大津市長 神谷 昇

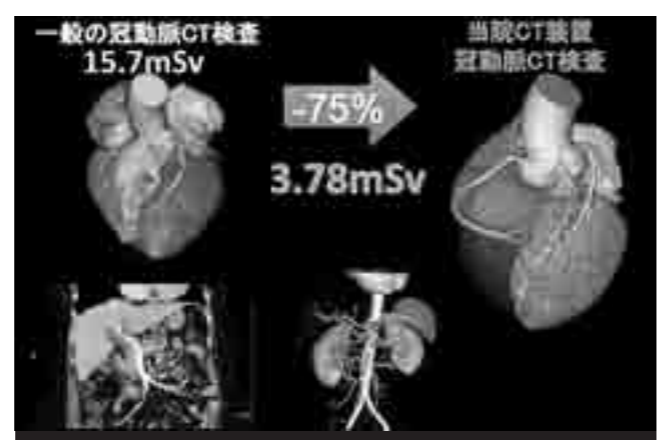
鮮やかな心臓CT画像をはやく撮影することが可能となり、冠動脈にカテーテルを挿入しなくても冠動脈や心臓の3D撮影ができます。さらに、腹部の検査では高画質・高速撮影が可能となったことで、腫瘍の早期発見が期待できます。
 市立病院では消化器病治療に特に力を入れており、腹腔鏡下手術を積極的に施行しています。このCT装置は腹腔鏡下手術を支援する仮想画像を医師に提供します。
 そのほか、糖尿病や腎疾患では病気の進行を把握するための血管像の描出を、従来の三分の一程度の時間で素早く行うことが可能です。

骨密度測定装置
 高齢化社会の進行で、骨粗しょう症患者は増加傾向にあり、骨折して寝たきりになる人の増加が懸念されています。
 このため、本院では正確な骨密度測定による骨粗しょう症患者の早期発見、早期治療、予防を行うため、骨密度測定装置を導入しました。
 ご自身の骨の状態を知ること、将来の骨折予防につながるものと考えています。
骨密度測定装置の特徴
 ▽検査部位（腰椎、大腿骨）を高精度で一気にスキャン
 ▽患者さんの体位変換が不要
 ▽検査時間が約5分と短時間
問合せ 市立病院総務課（☎5622）

◎CT(コンピュータ断層撮影)装置
 今回導入されるCT装置はオランダ・フィリップス社製で、1回転で256画像(80mm幅)を撮影でき、1回転0.27秒での高速撮影が可能です。これにより撮影時の息止め時間が大幅に短縮されます。
 また、従来のCT装置よりも

東日本大震災による福島第一原発の事故以来、放射線被ばくに対する関心が高まっています。この装置は逐次近似(ちくじきんじ)法を用い、被ばく低減にも優れた機能を有しており、従来の半分の被ばく線量で

同等の検査ができる場合もあります。
 高年齢化社会の進行で、骨粗しょう症患者は増加傾向にあり、骨折して寝たきりになる人の増加が懸念されています。
 このため、本院では正確な骨密度測定による骨粗しょう症患者の早期発見、早期治療、予防を行うため、骨密度測定装置を導入しました。
 ご自身の骨の状態を知ること、将来の骨折予防につながるものと考えています。
骨密度測定装置の特徴
 ▽検査部位（腰椎、大腿骨）を高精度で一気にスキャン
 ▽患者さんの体位変換が不要
 ▽検査時間が約5分と短時間
問合せ 市立病院総務課（☎5622）



※検査被ばく量は体型や撮影する部位、疾患により変化します

今回導入されるCT装置で撮影できる画像。冠動脈や心臓の3D撮影が可能です。また、検査時の被ばく線量低減にも優れています

GE社製 骨密度測定装置

NEWS 03 年末年始の市役所業務スケジュール

市役所は12月29日(木)～1月3日(火)まで閉庁します。昨年末までと閉庁期間が異なるのでご注意ください。

■表1 年末年始の一般家庭ごみ収集日程表

可燃ごみ収集コース	年末収集最終日(12月)			年始収集始業日(1月)		
	可燃ごみ	カンビンごみ	ペットボトル	可燃ごみ	カンビンごみ	ペットボトル
月・木曜日コース	29日	21日	28日	5日	4日	11日
火・金曜日コース	30日	21日	28日	6日	4日	11日
水・土曜日コース	31日	29日	22日	4日	5日	12日

※粗大ごみ(有料)は電話申込制になっています。
 (粗大ごみ電話申込センター ☎0800・123・5300 携帯電話からは0725・23・8522)

■表2 直接搬入日程表(自己搬入用)

	年末	年始
可燃ごみ・資源ごみ粗大ごみ	12月28日(木)まで	1月10日(火)から

※生活環境課の窓口でも搬入許可書を配布しています。

■市立病院 年末年始救急診察状況

月日	救急診察状況
12月28日(木)	小児科救急:午後7時～翌朝午前6時
12月29日(金)	内科救急:24時間二次救急(吐血・下血)
12月30日(土)	休診
12月31日(日)	休診
1月1日(月)	休診
1月2日(火)	休診
1月3日(水)	休診

※二次救急とは、入院が必要な症状の人、救急車で搬送が必要な人に対する救急診療のことです。

◎ごみの収集スケジュール

▷一般家庭ごみ
 一般家庭ごみの年末年始の収集日については、表1のとおりです。
 ▷粗大ごみ
 年内の粗大ごみ収集をご希望の方は、12月22日(木)までに粗大ごみ電話申込センター（☎0800・123・5300）、携帯電話からは0725・23・8522にお申し込みください。また、年末の申し込みは混雑が予想されますので、お早めをお願いします。
 なお、粗大ごみ申込センターの受付業務は、年末は12月28日(木)まで、年始は翌年1月4日(火)からとなります。
 ▷焼却場へ直接搬入する場合
 多量のごみや事業所・商店などのごみを直接ごみ焼却場（泉北クリーンセンター＝和泉市舞町87番地 ☎41・2030）に搬入する場合の年末・年始の日程は表2のとおりです。

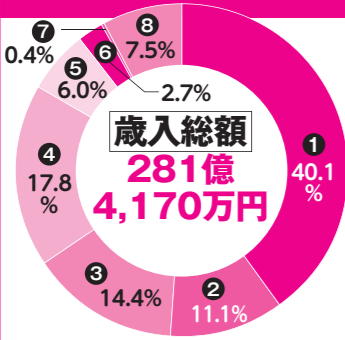
◎ふれあいバスの運休について

市では、60歳以上の人や障がい者、妊産婦、乳児連れのの人などの積極的な社会参加を支援するために、市内の公共施設等を循環する「ふれあいバス」を運行しています。年末年始は、次のとおり運休します。
運休日 12月29日(木)～平成24年1月3日(火)
問合せ 高齢介護課（市役所1階7番窓口）

◎戸籍関係の届けや市営葬儀など

死亡届など戸籍関係の届け出や市営葬儀の受け付けは、年末年始の休み期間中でも市役所当直室（市庁舎地階）で取り扱いします。
 なお、市営葬儀の業務（飾り付けのみ）は、1月2日(月)から行います。
問合せ 市民課（市役所1階4番窓口）

一般会計の決算状況



①市税 112億9,162万円

①市税の内訳

個人市民税	34億5,829万円
法人市民税	8億906万円
固定資産税	53億9,009万円
軽自動車税	7,697万円
市たばこ税	5億4,284万円
都市計画税	10億1,437万円

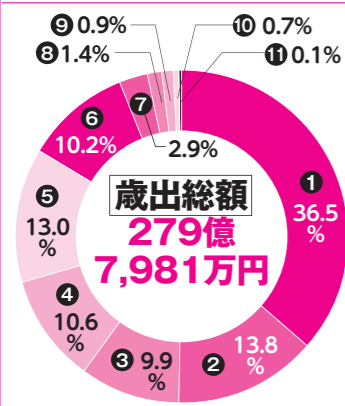
②市債	31億2,662万円
③地方交付税	40億6,196万円
④国庫支出金	50億367万円
⑤府支出金	16億8,138万円
⑥地方消費税交付金	7億4,526万円
⑦繰入金	1億2,248万円
⑧その他	21億871万円

⑧その他の内訳

諸収入	7億397万円
使用料および手数料	3億7,342万円
分担金及び負担金	1億9,155万円
地方譲与税	1億2,208万円
地方特例交付金	1億6,072万円
自動車取得税交付金	6,664万円
繰越金	2億2,342万円
財産収入	9,526万円
利子割交付金	5,009万円
配当割交付金	2,382万円
交通安全対策特別交付金	1,501万円
寄付金	463万円
株式等譲与所得割交付金	810万円

①民生費 102億1,927万円

②公債費	38億5,204万円
③総務費	27億5,673万円
④土木費	29億7,942万円
⑤衛生費	36億5,094万円
⑥教育費	28億5,510万円
⑦消防費	8億1,821万円
⑧諸支出金	3億8,026万円
⑨議会費	2億4,227万円
⑩商工費	1億9,654万円
⑪農林水産業費	2,903万円



市税 平成21年度と比較すると、歳入の根幹である市税は、長引く景気低迷の影響を受け、個人市民税が約3・2億円の大幅な減となった一方で、法人市民税および固定資産税がそれぞれ1・4億円の増、市たばこ税や都市計画税が平成20年度並みに回復したこと、市全体では前年度に比べ162万円の増で、ほぼ横ばいとなりました。

譲与税・交付金 子ども手当が創設されたことに伴う地方負担の発生に対応するために国から交付される児童手当および子ども手当特別交付金、地方道路譲与税の廃止に伴う地方揮発油譲与税の増があった。

国庫支出金 生活保護費負担金が約2・2億円、子ども手当負担金が約12・1億円などの増により、前年度に比べ約5・1億円、11・2%の増となりました。

地方交付税 地方財源の均衡化を図るため、国税の一定割合が地方公共団体に交付されるもので、普通交付税が約5・4億円、特別交付税が約0・6億円の増となったことから、前年度に比べ約6億円、17・3%の増となりました。

府支出金 子ども手当負担金が約1・7億円、緊急雇用創出基金補助金が約0・4億円、国勢調査委託金が約0・4億円などの増により、前年度に比べ約2・4億円、1・4%の増となりました。

繰入金 基金の取り崩しや他の特別会計から受け入れるお金で、前年度に比べて約5・3億円、81・1%の減となりました。

市債 退職手当債が1・4億円、道路整備事業債が約0・3億円、街路整備事業債が約0・3億円などの減があった一方で、火葬場整備事業債が約3・4億円、

積立金 都市施設整備基金積立金が約2・3億円、財政調整基金積立金が約1・4億円、昨年度より設置されました地域環境基金積立金が約0・1億円の増などにより、前年度に比べ約3・7億円の増となりました。

貸付金 病院事業会計への貸付金の減により、前年度に比べ約4億円、99・5%の減となりました。

繰出金 特別会計に対する事業費への一部負担などとして支出するもので、国民健康保険事業特別会計に対する繰出金が約0・8億円の増があった一方で、駐車場事業特別会計に対する繰出金が約2・8億円の減などにより、前年度に比べ約1・4億円、3・4%の減となりました。

社会保障費(扶助費)の増 依然止まらず

人件費 職員給は約1・1億円の減となった一方、退職手当が約0・9億円、国勢調査などにかかる指導員・調査員への報酬が約0・3億円の増となったことなどから、人件費全体では前年度に比べ0・1億円、0・3%の増となりました。

扶助費 生活困窮者や高齢者、障がい者および児童などを援助するために支出する経費で、子ども手当が約15・3億円、生活保護費が約3・5億円などの増となったことから、前年度に比べ約14・6億円、27・1%の増となりました。

公債費 元金・利子など借入金の返済に要する経費で、前年度に比べ

平成22年度の一般会計における最終予算現額は292億1714万円となり、この予算に対する決算額は、歳入281億4170万円、歳出279億7981万円、差し引き1億6189万円の黒字となり、このうち平成23年度への繰越事業充当財源5682万円を差し引いた実質収支は、1億507万円の黒字となりました。

また、一般会計、特別会計、企業会計のすべての会計を含む「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく4指標では、前年度と比べ連結実質赤字比率、将来負担比率の2指標は改善しましたが、依然厳しい財政状況であることには変わりありませんので、健全な財政運営に引き続き努めてまいります。

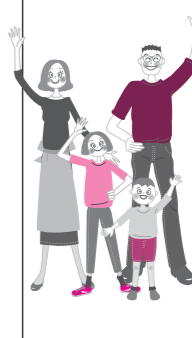
平成22年度 会計別決算状況

会計名	歳入総額(A)	歳出総額(B)	差し引き(A)-(B)
一般会計	281億4,170万円	279億7,981万円	1億6,189万円
特別会計	192億1,317万円	220億3,991万円	▲28億2,674万円
土地取得事業特別会計	9億3,968万円	9億3,968万円	0万円
国民健康保険事業特別会計	85億7,068万円	94億6,282万円	▲8億9,214万円
介護保険事業特別会計	33億4,583万円	33億4,363万円	220万円
後期高齢者医療特別会計	6億1,570万円	5億9,924万円	1,646万円
老人保健特別会計	220万円	220万円	0万円
駐車場事業特別会計	3億2,776万円	14億3万円	▲10億7,227万円
市街地再開発事業特別会計	6,533万円	6,465万円	68万円
下水道事業特別会計	53億4,599万円	62億2,766万円	▲8億8,167万円
合計	473億5,487万円	500億1,972万円	▲26億6,485万円

会計名	流動資産合計額(A)	流動負債合計額(B)	実質資金過不足額(A)-(B)
企業会計	25億2,650万円	19億1,801万円	6億849万円
水道事業会計	11億1,318万円	2億4,836万円	8億6,482万円
病院事業会計	14億1,332万円	16億6,965万円	▲2億5,633万円

※端数処理の関係で会計ごとの歳入・歳出総額および形式収支(企業会計の場合は流動資産・負債合計額および実質資金過不足額)と計が一致しないことがあります。

◎連結実質赤字比率、将来負担比率の2指標が改善
◎一般会計も引き続き黒字を堅持



平成22年度決算

平成22年度の一般会計における最終予算現額は292億1714万円となり、この予算に対する決算額は、歳入281億4170万円、歳出279億7981万円、差し引き1億6189万円の黒字となり、このうち平成23年度への繰越事業充当財源5682万円を差し引いた実質収支は、1億507万円の黒字となりました。

また、一般会計、特別会計、企業会計のすべての会計を含む「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく4指標では、前年度と比べ連結実質赤字比率、将来負担比率の2指標は改善しましたが、依然厳しい財政状況であることには変わりありませんので、健全な財政運営に引き続き努めてまいります。

■ 水道の普及状況

区分	H23.9.30 現在	H23.3.31 現在
給水人口	7万7,389人	7万7,397人
給水戸数	3万4,750戸	3万4,669戸
普及率	100%	100%

■ 配水量および有収水量など

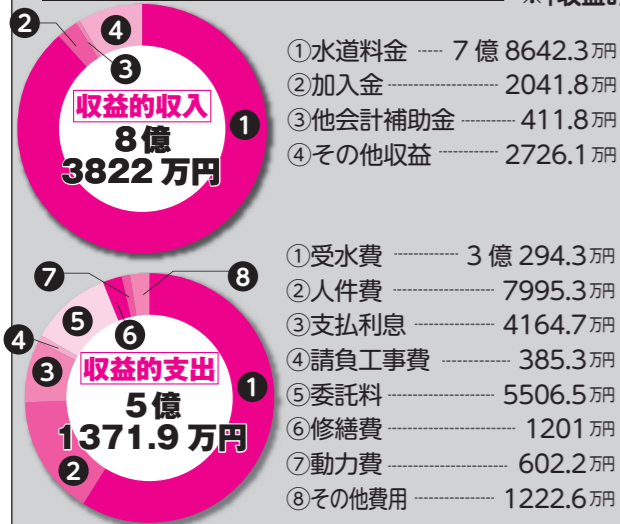
区分	H23.4.1~9.30	H22.4.1~H23.3.31
配水量	459万2,744 m ³	913万529 m ³
一日平均配水量	2万5,097 m ³	2万5,015 m ³
一日最大配水量	2万8,724 m ³	2万8,250 m ³
有収水量	434万3,850 m ³	871万2,916 m ³
有収率	94.6%	95.4%

水道事業の業務状況・決算

地方公営企業法第40条の2及び泉大津市水道事業の設置等に関する条例第10条の規定に基づき、平成23年度の4月1日から9月30日までの業務状況及び平成22年度の決算状況を公表します。 問合せ 水道業務課（市役所2階）

平成23年度 上半期業務状況

※「収益的収支」「資本的収支」の説明はこちら→



資本的収入 … 0円

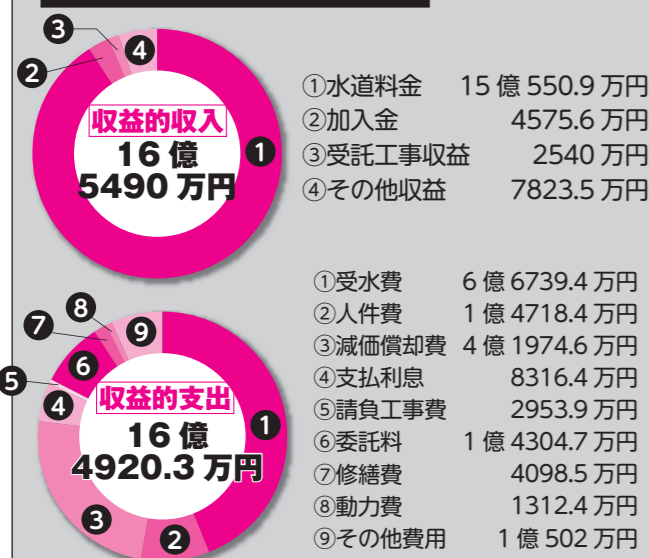


①建設改良費 8143.9万円
②企業債償還金 4215.8万円

MEMO

水道事業の予算・決算は「収益的収入・支出」と「資本的収入・支出」に分かれています。収益的収支は、水道事業を運営するための収支で、主な収入は水道料金、支出は受水費（大阪府営水道などから浄水を購入するお金）などです。資本的収支は、水道施設の建設・整備のための収支で、主な収入は企業債（借入金）、支出は建設改良費などです。

平成22年度 決算状況



資本的収入 2億 2231.4万円

①工事負担金 2363.4万円
②企業債 1億9660万円
③他会計負担金 208万円

資本的支出 4億 2735.5万円

■ 平成22年度 水道事業会計収支

平成22年度の決算状況は、収益的収支（収益的収支とは、1年間の企業の経営活動に伴って発生するすべての収益と費用で、企業の経営成績を表すもの）は、収益的収入の合計額が16億5490万円、収益的支出の合計額が16億4920.3万円となり、収支を差し引きすると569.7万円の黒字となりましたが、今までの分を合計すると、22年度だけで2億7064.5万円の赤字となっています。

水道管の調査、訪問販売にご注意を！

市では、常に安全で衛生的な水をお届けしており、浄水器の訪問販売・点検・部品交換や水道メーターの内側にある給水管の調査・点検、洗浄工事は行っていません。上下水道局が工事を施工する場合は、事前に「工事のお知らせ」を配布しています。また、各家庭の給水管のメーター交換、水質検査、測量調査が必要な場合は、市職員が訪問するか、施工業者に市長発行の証明書を持参させています。なお、不審に思われたときは、「市職員証」か「市長発行の証明書」の提示を求めるか、上下水道局へ確認の電話をお願いします。

上下水道局職員は「職員証」を着用しています！

■ わたしたちの財産など

●市債現在高(平成23年6月30日現在)

会計名	現在高
一般会計	289億9,738万円
土地取得事業特別会計	33億1,046万円
駐車場事業特別会計	4億470万円
市街地再開発事業特別会計	0万円
下水道事業特別会計	291億4,268万円
水道事業会計	37億8,036万円
病院事業会計	85億5,798万円
合計	741億9,356万円

●市財産の現在高(平成23年6月30日現在)

区分	現在高
有価証券	7億3,350万円
財政調整基金	1億7,273万円
都市施設整備基金	4億2,242万円
福祉基金	1,770万円
交流とふれあいのまちづくり基金	2億5,737万円
深喜人材育成基金	1億4,447万円
公園墓地基金	4,742万円
介護給付費準備基金	2億1,651万円
辻川穂太郎やすらぎ基金	9,477万円
泉大津市がんぼう基金	399万円
介護従事者処遇改善臨時特例基金	198万円
佐野幸子基金	4,227万円
地域環境基金	961万円
環境整備資金貸付基金	5,465万円
小計	14億8,589万円
合計	22億1,939万円

■ 本市の歳出・歳入を「市民1人あたり」に換算すると…

【市民1人あたりが納める市税の内訳】

合計納税額…14万5,891円

区分	決算額	比率
固定資産税	6万9,642円	47.7%
個人市民税	4万4,682円	30.6%
都市計画税	1万3,106円	9.0%
法人市民税	1万453円	7.2%
その他	8,008円	5.5%

【市民1人あたりの歳出の内訳】

合計歳出額…36万1,511円

区分	決算額	説明
民生費	13万2,037円	高齢者や障がい者、子どもなどの福祉関係
公債費	4万9,770円	借入金の返済にあてる経費
総務費	3万5,618円	情報管理、広報、文化振興などの関係
土木費	3万8,495円	道路・歩道・公園整備や管理関係
衛生費	4万7,172円	地域保健やごみ処理などの関係
教育費	3万6,889円	学校教育や生涯学習などの関係
消防費	1万572円	消防や災害対策などの関係
その他	1万958円	議会費や商工費など



（平成22年度決算）の続き

平成22年度決算の健全化判断比率と資金不足比率

平成20年4月から「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、地方公共団体は実質赤字のほか、特別会計・企業会計や第三セクターを含めた連結ベースでの実質赤字、将来において償還すべき実質的な負担などを表す指標（健全化判断比率）と、公営企業ごとの資金不足を表す指標（資金不足比率）を議会に報告し、公表を行っています。平成22年度決算における本市の健全化判断比率および資金不足比率は右表のとおりです。

■ H22年度決算における本市の健全化判断比率と資金不足比率

	泉大津市		早期健全化基準		財政再生基準	
	H22	H21	H22	H21	H22	H21
実質赤字比率	-	-	12.70	12.73	20.0	
連結実質赤字比率	7.64	13.79	17.70	17.73	35.0	40.0
実質公債費比率	18.5	18.4	25.0		35.0	
将来負担比率	216.1	246.9	350.0			

(単位：%)

会計名	水道事業会計		病院事業会計		下水道事業特別会計		市街地再開発事業特別会計		経営健全化基準
	H22	H21	H22	H21	H22	H21	H22	H21	
資金不足比率	-	-	5.3	9.6	-	-	-	-	20.0

平成24年度 予算編成方針の概要

子どもや高齢者の皆さんが住みやすいまちづくりを目指して

泉大津市の課題

泉大津市の平成22年度決算では、特別会計・企業会計を含めた連結実質赤字比率が、平成21年度決算より改善を示したものの、全国ではワースト3位に位置する結果となり、また経常収支比率も100%を下回ったとはいえ、99.2%と依然として硬直した財政状況です。また、特別会計・企業会計の決算については、一般会計からの繰出により改善は図られてはいるものの、すべての赤字を解消するにはいたっていません。とりわけ、病院事業会計については、約13億円の繰出を行ったうえで、約2億6,000万円の資金不足額を計上しています。

平成24年度予算編成に当たっての考え方

これまでと同様「ムダ」を省いて行財政運営の簡素化・効率化を図りつつ、教育・福祉や危機管理など、市民生活に必要な事業については、行政サービスの低下につながらないよう配慮した予算を目指すこととします。

- 一般会計だけでなく、全会計において、すべての事務事業の棚卸しを行い、かつ、その効果を検証し、不要不急なものについては事業廃止を含めた見直しを行う。
- 予算要求額については、平成23年度当初予算額の範囲内とする。
- 子どもたちや高齢者が住みやすいまちづくりのため、真に市民生活に必要な事業については一定配慮するものとする。
- 危機管理については、防災対策はもちろんのこと、広域的、福祉的な対応を含めて様々な危機への対応能力を高めるための事業については、一定配慮するものとする。

問合せ 財政課（市役所4階）

平成24年
4月使用分
から

水道料金

が改定されます。

市民の皆さんにはご負担をおかけしますが、水道料金および下水道使用料を値上げさせていただくことになりました。ご理解とご協力をお願いいたします。

9月に開催された定例市議会で、水道料金、下水道使用料の料金改定議案が可決され、来年5月分（4月使用分）から改定料金で納めていただくことになりました。

これまで本市の水道料金については、平成20年度に平均改定率13%の料金改定を行ったところですが、近年の節水家電などの普及、および最近には特に水道水を使用しない人が増えたことにより、毎年使用水量が2%前後減少しており、予測していた給水収益には達していない状況です。

また、歳出の状況については、退職者不補充による人件費の削減、業務委託の広域化などを図っている状況であり、常に経営努力をしてきたところですが、

しかし、使用水量の減少による給水収益の落ち込みは大きく、このままでは人員の合理化など、経営健全化の内部努力を上回るペースで赤字傾向が続き、平成28年度決算見込みでは、約9億2000万円の累積赤字となる見込みです。

こうした状況をふまえ、市では、将来に赤字を先送りすることなく、水道財政の健全化を図るため、やむなく来年5月分から料金改定を行うこととしました。

ただし、家事用（住宅において日常生活の用に使用するもの）水道料金については、10立方メートル以下の単価を据え置きとさせていただきます。

今後とも水道財政の健全化を図り、安心・安全な水道水の

■平成24年5月分（4月使用分）からの水道料金（税込）

用途	基本料金	水量		金額 (1m単価)
		基本	超過	
家事用	446円	5m未満		39円
		5~10m		40円
		10~20m		205円
		20~30m		240円
		30~50m		284円
		50~100m		303円
一般用	590円	10m未満		113円
		10~20m		210円
		20~30m		245円
		30~50m		291円
		50~100m		355円
		100~300m		380円
官公署用	4,188円	10m未満		113円
		10~20m		210円
		20~30m		245円
		30~50m		291円
		50~100m		367円
		100~300m		397円
臨時用	690円	全水量		606円
		300m未満		42円
公衆浴場用	2万318円	300~1,000m		64円
		1,000m以上		78円

安定供給に努めます。

水道料金を平均13%、下水道使用料を平均12.7%値上げすることにより、市民の皆さんにはご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

問合 水道業務課（市役所2階）

■平成24年5月分（4月使用分）からの下水道使用料（税込）

●一般排水

基本使用料	380円
水量 (m)	新使用料 (1mにつき)
0~5	90円
6~10	95円
11~20	145円
21~30	155円
31~50	190円
51~100	220円
101~300	255円
301~500	295円
501~1000	330円
1001以上	350円

※水量0~30mについては、2区分から4区分へ細分化しています

■下水道の使用料収入と必要経費の収支

(単位:百万円)

	下水道使用料収入	汚水経費	収支不足額
平成20年度	980	1,026	△46
平成21年度	995	1,046	△51
平成22年度	979	1,072	△93

下水道使用料 が改定 されます

平成24年
4月利用分から

下水道は、安全で快適なまちづくりのために欠かせない施設です。本市では現在、市民の約92.3%に当たる皆さんが利用できるようになっています。その一方で、下水道は多額の資金を必要とする事業であり、施設整備や維持管理などに要する費用のうち、汚水経費は、市民の皆さんの下水道使用料でまかなうこととなっています。しかし、本市では右下表のとおり、下水道使用料収入で汚水経費の全額をまかなえない状況が続いています。

これまで、市では下水道財政の健全化に向けて、人件費や維持管理費の削減、借入金の低金利への借り換え、水洗化向上のための啓発活動など、さまざまな取り組みを行ってまいりましたが、将来にわたり持続可能な下水道の経営のため、料金の適正化を図り、右表のとおり下水道使用料を改正することとしたものです。

◎一日も早く下水道へ接続（水洗化）してください

公共下水道処理区域では、家庭排水や浄化槽などは6か月以内（ただし、くみとり便所は3年以上）に接続しなければなりません。ご理解・ご協力をお願いします。

◎下水道に油類や生ごみなどを流さないでください

油類や生ごみなどを流すと、排水管や下水管が詰まる原因となります。お皿やお鍋についた油汚れは、洗う前にふき取りましょう。食用の油は固めるなどして、また、生ごみは水切り袋などを利用して、可燃ごみとして出してください。

問合 下水道整備課（市役所2階）

その
1.

1. 泉大津のおいしい水道水はどこから来ているの？

本市の水道は、びわ湖から淀川に流れた水を取っている大阪広域水道企業団と、光明池の水を取っている泉北水道企業団から、「かん速ろ過方式（※）」できれいになったたくさんのお水を、みなさんの家へ送っています。

また、大阪広域水道企業団では、「高度浄水処理」という新しい水づくりをしています。

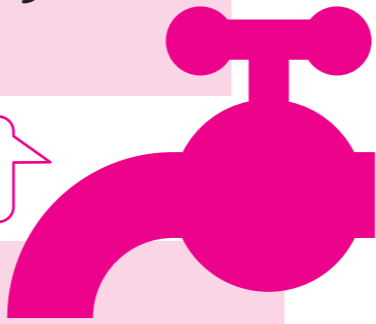
この「高度浄水処理」とは、通常の浄水処理では十分に対応できないにおい、トリハロメタンなどを、活性炭、オゾン処理などにより除去する方式のことをいいます。この高度浄水処理をした水も本市へ送られてきています。したがって、本市の水道水はいつでも安全で安心して飲むことができます。

水道マメ知識

一般的な市販のミネラルウォーター1リットルの値段は、府の水道水約1,000リットルの値段に相当します。

←ミネラルウォーター

市販の水の値段は水道水の約1000倍！



健康のために水を飲む

体の中の水分が不足すると、熱中症、脳梗塞、心筋梗塞など、さまざまな健康障害のリスク要因となります。寝る前、起床時、スポーツ中、入浴の前後、そしてのが渴く前に水分補給を心がけましょう。予防にはこまめな水分補給が重要です。健康のために水を飲みましょう。

問合 水道業務課（市役所2階）

上下水道局からのお知らせ

その2. 水道管を寒さから守ろう

気温がマイナス4度以下になると、水道管が凍ったり破裂したりする場合があります。特に多いのは、次のようなところにある水道管です。早めに冬支度を済ませてください。

破損しやすい水道管

- ▷水道管がむき出しになっているところ
- ▷北向きのところ
- ▷風当たりの強いところ

むき出しになっている水道管や蛇口の部分に布などを巻きつけて保温し、雨などで濡れないように上からビニールなどを巻いておく効果があります。

水道管や蛇口が凍って水が出ないときは、凍っている箇所にタオルや布をかぶせ、その上からぬるま湯をゆっくりとかけて、水が出るのを待ってください。水道管に直接熱いお湯をかけると、水道管が破裂することがありますので注意してください。

もし水道管が凍って破裂したら、止水栓（元栓）で水を止め、破裂したところに布かテープをしっかりと巻きつけ応急処置をし、すぐに市指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。

問合 水道工務課（市役所2階）

その3. 受水槽や高置水槽は清潔に保ちましょう！

ビルやマンションに設置されている受水槽や高置水槽の管理が不十分であると、給水する水の衛生に問題が生じます。受水槽などの設置者・管理者は、次のような点に気をつけて、みずから適正な管理に努めてください。

- ①受水槽などの清掃を、毎年1回以上、定期的に行いましょう
- ②受水槽などの点検を行い、不備な点があれば速やかに改善しましょう
- ③水道の蛇口で、水の色・濁り・臭い・味に異常がないか、また残留塩素の検査も含め、毎年1回以上定期的に行いましょう
- ④給水する水が人の健康を害するおそれがあることを知ったときは、直ちに給水を停止し、その水を飲まないよう利用者に知らせるとともに、和泉保健所（☎41・1342）に連絡し、指導を受けてください
- ⑤受水槽の有効容量が10m³を超える簡易専用水道の設置者・管理者は、毎年1回以上、法令検査を受けなければなりません

受水槽・高置水槽の主な点検場所

●マンホールのフタ

- ▷フタが開いていると、虫やごみが入るだけでなく、大変危険なためしっかりと閉めて施錠しましょう
- ▷フタに隙間があると、油、薬品、雨水などが流れ込む恐れがあります

●点検ハシゴ・給水管

- ▷点検ハシゴや給水管がさびると、赤水の原因になります

●槽

- ▷底にサビがないか、土砂や異物などがたまっていないかの確認をしましょう
- ▷槽に亀裂や穴があると、汚水が流れ込む恐れがあります

●通気孔・オーバーフロー管

- ▷防虫網の設置を。ネズミや虫が侵入する恐れがあります

問合 水道工務課（市役所2階）